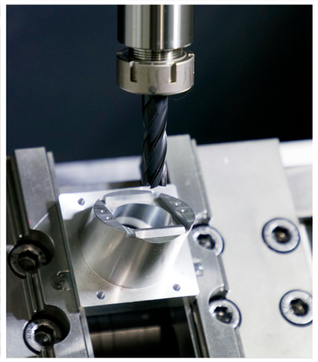
北陸マシナリー 有限会社

▶対 象 類 型　精密加工
▶事 業 類 型　一般型　試作開発+設備投資
▶主たる目的　生産性向上

先端技術機導入による航空機分野のシェア拡大と販売増加の実現









1
2 3 4

1／今回導入した「多面同時5軸加工機」。
2／「多面同時5軸加工機」の画面。1編集画面で多面の加工プログラムを容易に行える。最初にプログラミングしておけば、完成まで手を加えることがない。
3／部品を乗せているテーブルごと回転するため、加工する面ごとに部品を付け替える手間が省ける。
4／北陸マシナリーが製作した部品は、精密さが求められるものが多い。

培ってきた確かな技術を生かし、航空機分野への進出。

北陸マシナリーでは、治具などの産業機械用のパーツ、特に正確な技術が求められる特殊な形の部品作りを得意としている。近年、航空機は世界的に需要が増えており、20年後の市場規模は現在の2.5倍以上に膨らむと予想されている。国内でも、ジェット旅客機の量産化に向けた開発と民間航空機の生産が増加し、経済成長を牽引する産業として注目を集めている。同社でも航空機部品の受注シェア拡大を目標としたが、現在手掛ける部品より複雑で高精度な加工が必要なこと、仕様変更が頻繁に起こり、今までの機械では納期などに柔軟に対応できないことの問題点が浮上した。

そこで今回導入したのが「多面同時5軸加工機」である。従来は、1つの部品を作るのに、縦方向、横方向など、加工面ごとに専用の機械が必要になっていた。しかし、新しい機械は、あらゆる方向への加工に対応しているため、機械への付け替え回数が減り、従来の半分以下の時間で製作できるようになった。また、付け替えによる誤差も削減でき、精度は以前の約10倍に上がった。さらに、通常、部品を大量生産する場合は、削る場所の目印や加工する素材のズレを防ぐ役割の治具が必要だが、これも不要になり、仕様変更への柔軟な対応やコスト削減にもつながった。

注目すべき成果

1台の機械で全加工ができ時間短縮と効率UPへ。

6面加工のうち、加工後の1面を据え付け面とし、残りの5面で同時加工できるようになった。その結果、従来の半分以下の時間で加工が終わり、付け替える手間も省けるため、作業効率は大幅に向上した。

注目すべき成果

治具の製作不要。変更への柔軟な対応とより緻密な加工が可能。

設計変更の度に新たな治具を作り、治具の付け替え作業が必要であったが、「多面同時5軸加工機」は治具が不要。そのため、手作業による不良や治具製作のコストや時間をカットできるようになった。

今後の展望

航空機分野を中心にシェア拡大と安定した受注の確保を。

航空機分野は国内でも需要が増えており、同社のような精密な部品を作れる企業への受注が増えると考えられる。今までは稼働能力の制限があり受けられなかった受注にも対応できるようになり、シェア拡大が図れる。

ものづくり専門員から一言

独自技術で“ものづくり補助金”を活かす。

手作業で“ものづくりのノウハウ”を身につけ、磨き上げたとき、「機械を売る」から「技術を売る」ビジネスモデルに転換。自動車、電気電子部品、光学機器はもとより、航空機分野への事業展開は、他社とは異なる“細工”が出来ることが評価されてのこと。新型機械＋自社独自技術＝市場開拓&新分野進出は、ものづくり補助金の基本モデルと言えよう。

こんな会社です！

培ってきたノウハウを生かし新分野への進出を。

当社は、創業当時から特殊な加工が必要な部品を製作しています。他社の方が見ると、製作方法が見当もつかない部品もあるほど、先代から受け継がれた技術には自信があります。今後も特殊な技術が必要な部品を製作していきたいと考えています。特に航空機分野の部品は、0.01mmのズレも許されないほどの細かい作業が必要となります。今回の「多面同時5軸加工機」と、今まで培ってきた「ものづくり」のノウハウを生かして、当社にしか作れない部品を作り、受注により正確に応えられる企業へと成長していきます。



代表取締役社長
澤田 常夫さん



従来の横型加工機を扱う従業員もおり、特殊技術は確実に受け継がれている。



本社・工場

北陸マシナリー　有限会社

代表者／代表取締役社長 澤田 常夫
設立／昭和55年（1980年）4月
資本金／1,500万円
従業員数／16名
事業内容／各種産業機械用パーツの製造
売上高／4億1,900万円（平成29年4月期）
〒919-0527 坂井市坂井町下兵庫251-1-1
☎0776-72-3530　FAX.0776-72-3531
春江工場　坂井市春江町高江5-26
E-mail machina@ma.interbroad.jp